

## Contents

### Contents

THE RECORD.....2002.1 No.506

●目次-----	2	●ニュース-----	9
●年頭所感-----	3	トーク&コンサート2001 長野、前橋で開催 無料フ	
社団法人日本レコード協会		ァイル交換ソフトで国内初の逮捕者 IFPI声明を発表	
会長 富塚 勇		他	
●2002年重要課題-----	4	●GOLD ALBUM 他 認定作品-----	11
●統計速報2001年-----	6	●世界の話題-----	12
●第8回日本プロ音楽録音賞受賞者決定!!-----	8	●統計資料-----	13
		●レコード生産実績-----	14
		●会員会社一覧-----	15

# 新年明けましておめでとうございます

## — 60周年を機に新しい体制で レコード産業の課題に取り組む —

■社団法人日本レコード協会 会長 富塚 勇



新年明けましておめでとうございます。

皆様におかれましては、輝かしい新年を迎えられたことと心からお慶び申し上げます。

昨年は、3月に著作物再販制度の当面存置が決まり、従来の音楽流通システム、即ち、CD等のパッケージによる音楽の流通基盤は維持されたものといえます。この問題については、今後、公正取引委員会が中心となって設置した著作物再販協議会にも参加し、より円滑なパッケージによる音楽流通を拡大していきたいと考えております。

一方、インターネットを通じた音楽の流通が大きな注目を浴び、問題を提起しています。合法的な手段によって音楽関係権利者が正当な対価を受けるというシステムは、未だ確立されていません。今、世界的に広がりを見せているのは、インターネット上で提供される、ファイル交換のための無料ソフトを利用したいわゆるP2Pといわれる個人同士の音楽ファイルの交換あるいは共有という方法です。このような方法によって著作権等のある音楽を利用することは、もちろん違法行為にあたるので、関係権利者団体とも協力しながら、強い態度でこの問題に取り組んで参ります。

この問題との関連では、昨年の臨時国会において、いわゆるインターネットサービスプロバイダーの法的責任に関する法律が成立しましたが、インターネット上の音楽の違法利用に対する取り組みにこの法律を有効に活用していきたいと考えています。

最新のデジタル技術は、われわれの生活に大きな改革と恩恵をもたらすと同時に、海賊版の製造・販売や音楽CD等の違法利用を助長し、国際条約における「著作物等の通常の利用を妨げず、かつ著作者等の権利を不当に害しない場合」を逸脱するような著作物等の利用を生み出しており、音楽文化発展の基本である「創造のサイクル」の崩壊の危機を迎えています。

レコード産業は、違法あるいは過度な複製から音楽文化を守るために、違法行為への音源提供を絶つべく、技術的にプロテクトされたCDの導入を図る時期にきています。

また、昨年の臨時国会で文化芸術振興基本法が成立し、レコードの普及に対する施策の必要性も謳われています。この法律においても、文化芸術におけるレコードの重要な役割が改めて認識され、レコード製作者の権利保護のための施策が講じられることが期待されています。

当協会が設立されて60年。今、日本のレコード産業は、3年連続の対前年比割れという、かつてない厳しい状況に置かれています。しかし、当協会は、60周年を機にその活動内容と組織を見直し、新しい体制で日本のレコード産業の課題に取り組んで行くことになりました。

新しい協会へのご指導ご鞭撻をお願い致しますと共に、皆様にとって飛躍の年となるよう祈念申し上げます。

# 日本のレコード産業 2002年の 重要課題

レコード産業は、デジタル化・ネットワーク化、国際化、流通の多様化等によって生じてきた多くの課題に直面しています。当協会は、今年創立60周年を迎えたことを機にその業務全般を抜本的に見直し、新しい体制でこれらの課題に対応していくこととなりました。

レコード産業は、CD等の音楽キャリアを通じて音楽文化を担ってきましたが、健全な音楽文化を維持・発展させるための「音楽創造のサイクル」の確保に向け、その基盤を強化していくことが必要であります。

当協会は、このような観点から、以下の課題を推進して参ります。

## 立法化への対策

### ●公衆送信権

受信者によるデジタル録音を前提とした放送は、著作権法で認められる私的複製の範囲を超える複製を生み出し、レコード産業に多大な損害を与えます。

当協会は、このような放送に対する許諾権である「公衆送信権」の立法化に向け、関係当事者と引き続き協議を行って参ります。

### ●輸入権

韓国における日本文化開放政策に基づいて、韓国での日本の音楽への需要が急速に高まっているほか、アジア諸国でも日本の音楽への関心が高まってきています。

アジア諸国との音楽文化交流をさらに促進するためには、原盤ライセンスの下に現地で製造・発売された日本のレコードが、国内と比較してはるかに安い価格で日本に還流して日本の市場を混乱させないようにする必要があります。日本のレコード産業は、このようなレコードの輸入をコントロールできる「輸入権」の創設を求めています。

この権利についても、関係当事者との間で立法化に

向けた協議を継続して参ります。

## ネット上の音楽の違法利用対策

インターネットのブロードバンド化に伴い、日本でも、品質のよい音楽がスピーディに配信できるという、新しい環境が整いつつあります。

しかし、レコード産業がこのような環境を活用していくためには、インターネットを介して個人のパソコン上で自由にファイルの交換や共有ができる、いわゆるP2Pといわれる最先端技術を使い、音楽CD等から権利者に無断で行われる「音楽ファイルの共有や交換」といった違法利用を排除しなければなりません。

当協会は、会員社及び関係権利者団体と共に、法的対応をはじめ、著作権思想の普及・啓発等の広報活動を通じ、違法対策を講じて参ります。

## 権利保護技術の導入支援

当協会は、インターネット経由でパソコンなどを使った音楽の違法利用を未然に防ぐため、CDなどにコピープロテクション技術を採用するレコード各社の動きを積極的に支援して参ります。

## データベース化とEDIの推進

当協会は、会員社との電子情報交換（EDI）システムの導入を推進し、レコード商品・楽曲データベースの構築を行っています。

今後さらに著作権及び実演家団体とのデータベース連携を進めることで、音楽の一層の利用の促進を図るための情報提供と、インターネット上での音楽の違法利用を排除するための情報管理に取り組んで参ります。

## 販制度の弾力運用

再販制度については、政官界をはじめ、関係産業界、関係団体等、多くの方々のご支援により、昨年3月、公正取引委員会によって当面存置とすることが公表されました。この制度が音楽ファンに有益なものであり続けるため、これからも、弾力的な運用と、より円滑な流通基盤整備の推進に取り組んで参ります。

## 当協会新年会開催

当協会は、1月7日（月）午後4時から、東京・赤坂プリンスホテル「五色の間」において、恒例の新年会を開催致しました。

今回の新年会は当協会創立60周年記念を兼ねており、冒頭、60周年記念のビデオ上映を行いました。続いて、当協会富塚会長の挨拶の後、来賓を代表して佐々木正峰文化庁長官からご挨拶を頂きました。

引き続き、60周年記念行事の一環として、この10年間にレコード産業に多大な貢献をされた半田正夫氏、矢島靖夫氏、小澤敏雄氏、乙骨剛氏の4名の方の功勞に対し、表彰を行いました。



功勞者表彰受賞の四氏

その後、鏡開きを行い、(社)日本音楽著作権協会星野哲郎会長から乾杯のご発声を頂いた後、例年通り賀

詞交換と歓談に移りました。



乾杯の音頭をとるJASRAC星野会長

会場には、会員各社の出席者を含め、700名を超える方々が一堂に会し、晴れやかな新年会となりました。当日は、国会議員の先生方を始め、関係諸官庁、関係団体、マスコミ、販売流通業界から多数の方々に出席頂きました。

なお、政務ご多忙の中、当日ご出席いただいた国会議員の先生方は以下のとおりです。（五十音順／敬称略）

荒木清寛（公明・参）、太田明宏（公明・衆）、緒方靖夫（共産・参）、小野晋也（自民・衆）、小林興起（自民・衆）、斉藤鉄夫（公明・衆）、竹山裕（自民・参）、西博義（公明・衆）

## ●2001年レコード生産の概況(推定)

2001年(1~12月)の当協会加盟24社(受託を含む)のオーディオレコード、ビデオレコードを合わせた総生産数量は、4億4,292万枚・巻(前年比92%)、総生産金額は6,507億円(前年比96%)となり、数量、金額ともに前年を割り込む見込みです。

このうち、オーディオレコードの生産数量は、3億8,506万枚・巻(前年比89%)、金額は5,002億円(前年比93%)で、98年をピークに3年連続の前年割れとなります。ビデオレコードの生産は、DVDが好調に推移したため、LD、ビデオテープの減産分をカバーし、全体では数量が5,786万枚・巻(前年比123%)、金額は1,505億円(前年比109%)になると予想されます。

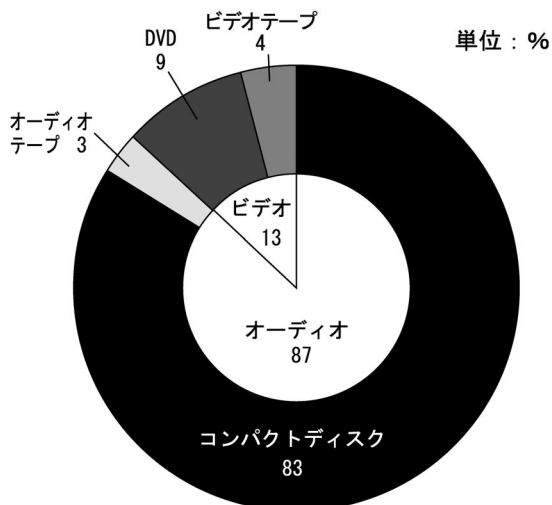
2001年1~12月レコード 総生産高(推定)

種類		数量 (万枚・巻)	構成比 (%)	前年比 (%)	金額 (億円)	構成比 (%)	前年比 (%)
オーディオ レコード	8 cm C D	959	2	29	38	1	25
	12cmCD シングル	9,843	22	94	754	12	92
	12cmCD アルバム	26,064	59	94	4,074	63	96
	C D 計	36,866	83	89	4,866	75	93
	アナログディスク	131	0	69	14	0	67
	テ ー プ	1,509	3	88	122	2	88
	合 計	38,506	87	89	5,002	77	93
ビ デ オ レコード	D V D	3,966	9	173	834	13	149
	LD・その他	200	0	62	34	1	54
	テ ー プ	1,620	4	77	637	10	84
	合 計	5,786	13	123	1,505	23	109
総 合 計		44,292	100	92	6,507	100	96

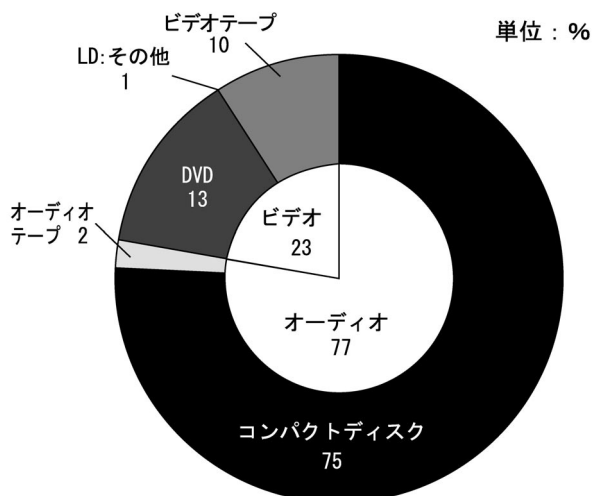
備考1、協会加盟社以外から加盟会社への委託製造分を含む。

2、数値は四捨五入により内訳と合計が一致しない場合がある。

2001年1~12月  
レコード生産数量比率(推定)

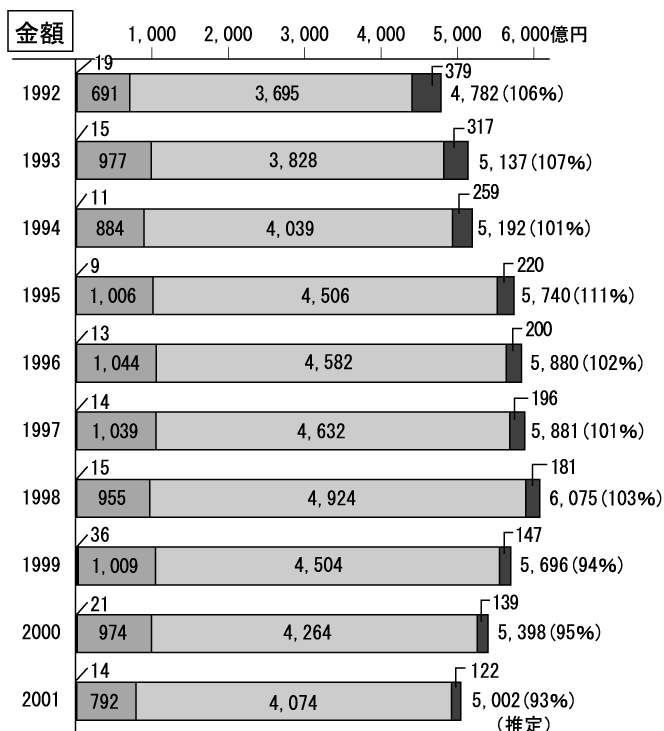
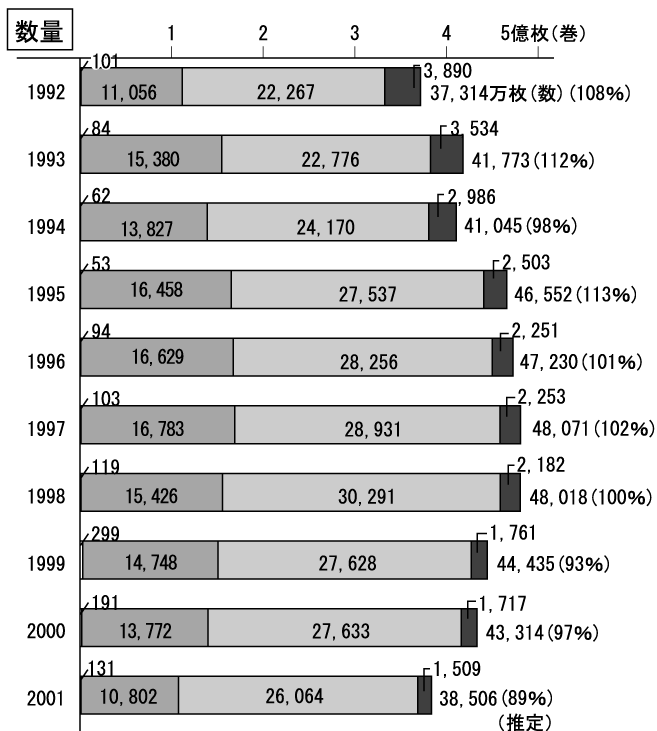


2001年1~12月  
レコード生産金額比率(推定)



## オーディオレコード生産の推移

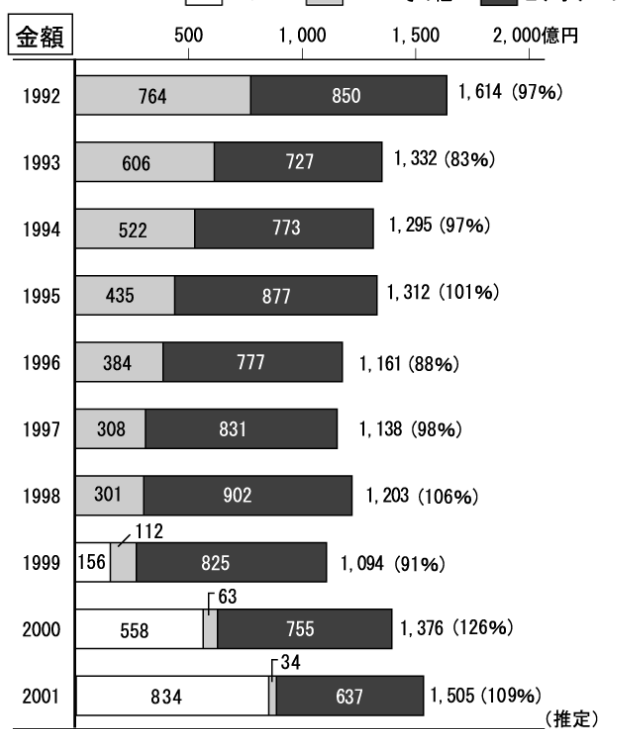
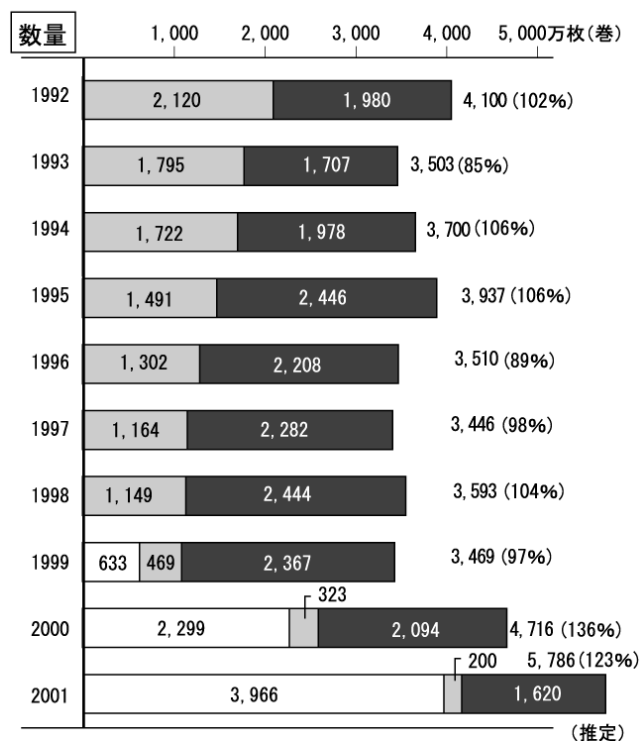
□ アナログディスク □ CDシングル □ CDアルバム ■ テープ



備考 1. 1998年以前の12cm CDシングルはCDアルバムに含まれている。  
2. ( )内は前年比。

## ビデオレコード生産の推移

□ DVD □ LD・その他 ■ ビデオテープ



備考 1. 1996~98年のDVDはLD・その他に含まれている。  
2. ( )内は前年比。

# 「日本プロ音楽録音賞 2001」受賞者決定!!

「日本プロ音楽録音賞2001」の授賞式が去る12月6日(木)、虎の門パストラルで行われ、優秀作品の受賞者が決定しました。ノミネート作品については、本誌2001年11月号でご紹介しておりますのでご参照ください。

以下に、優秀作品の受賞者およびタイトル、CD番号、放送番組名などをお知らせします。



## 部門2：ポップス・ロック

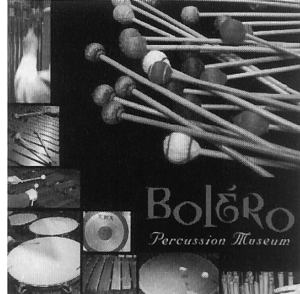
- CDシングル<eternal snow>  
Skoop On Somebody SRCL-49665  
主エンジニア：川崎 洋、川本ゴン太
- CD「ベイビーフィリックステーマソング集」より<ベイビーフィリックスのテーマ>大貫妙子 (vocal)他 NECA-30041  
主エンジニア：原田光晴、内沼映二、河野洋一



左：CDシングル<eternal snow> Skoop On Somebody SME Records SRCL49665  
右：CD「ベイビーフィリックステーマソング集」大貫 妙子 (Vocal) 他 Inter CHANNEL NECA-30041

## 部門1：クラシック・ジャズ

- CD「The New York Quartet」より  
<You Don't know what love is> Osamu Koike  
VICL-69054  
主エンジニア：別宮 環、Roy Hendrickson、Alex Kafu
- CD「パーカッション・ミュージアム | ボレロ / 展覧会の絵」より<道化師の朝の歌>パーカッションミュージアム KICC-344  
主エンジニア：須賀孝男、吉越晋治、松山 努、高橋邦明



左：CD「The New York Quartet」Osamu Koike 他 Aosis VICL-69054  
右：CD「パーカッション・ミュージアム | ボレロ / 展覧会の絵」パーカッション・ミュージアム キング KICC-344

## 部門3：オーディオビジュアル

該当作品なし

## 部門4：放送

- 「ABCフレッシュコンサート」より<ムソルグスキー＝ラヴェル：「展覧会の絵」>大阪フィルハーモニー交響楽団 2001年4月20日テレビ朝日放映  
主エンジニア：小泉 智、西田英昭、野本 茂、塚原 徹、前田雄大
- 「第33回思い出のメロディー」より<「花」他>ねーねーず 2001年8月11日NHKBSハイビジョンテレビ他放映  
主エンジニア：梅田芳政、福島芳樹、鈴木勇一、竹原浩之、高橋常敏



左：「ABCフレッシュコンサート」<ムソルグスキー＝ラヴェル：「展覧会の絵」> 2001年4月20日 テレビ朝日放映  
右：「第33回思い出のメロディー」ねーねーず：「花」他 NHK BS/ハイビジョンテレビ他 2001年8月11日放映

## Information

トーク&コンサート2001  
長野、前橋で開催

本誌11月号でお知らせした標記コンサートが、11月29日(木)に長野市「長野NBSホール」、12月4日(火)に前橋市「群馬県民会館小ホール」でそれぞれ開催されました。

このコンサートは、不法録音物対策委員会(委員長:木村三郎当協会専務理事)の広報活動の一環として実施しているキャンペーン・コンサートで、不法録音が多く行われていると思われるカラオケ教室などの各種音楽教室の主催者、講師を対象に、著作権思想の普及を目的として行うものです。同委員会の前身である「カラオケ教室不法録音物対策委員会」では、今回と同趣旨のイベントを3年間に亘り、全国10カ所で実施してきました。いずれも成功を収め、好評だったため、今年の継続開催が実現したものです。

両コンサートとも、吉川精一さんの司会により、2部構成で進行了しました。

第1部では、作家の創作活動から制作を経て1枚のCDが生まれるまでの過程をドキュメントとして描いた「愛する歌その道のり」のビデオを上映し、引き続きビデオにも出演している鈴木淳さん(作曲家)、たきのえいじさん(作詞家)、松下章一さん(プロデューサー)、長谷川千恵さん(歌手)に作曲家の大谷明裕さんが加わり、それぞれの立場から“魂を込めて創作した歌”への思いが語られました。

第2部は、主催者代表からの挨拶が行われた後、鈴木淳さんの直接指導によるカラオケレッスンと、長谷川千恵さんと田村恵さんによるミニコンサートが行われました。最後は出演者と来場者が全員で「浮雲」を大合唱し、公演は2時間

45分にも及びました。

このトーク&コンサートは、12月4日の前橋で12回目となりました。不法録音物対策委員会では、今後もこのような著作権思想の普及を目的とした活動を実施していきます。

無料ファイル交換ソフトで  
国内発の逮捕者

11月28日(水)、京都府警は、ファイル交換ソフトを使い、著作物を無許可で配布したとして、著作権法違反の疑いで、東京都内の大学生ら二人を逮捕しました。

二人はファイル交換ソフト“WinMX”を利用して、コンピュータソフトを自身のパソコンから不特定多数のネット利用者が無料で取り込めるように設定し、コンピュータソフトの著作権(公衆送信権)を侵害したものです。

ファイル交換ソフト利用による著作権侵害での摘発は、今回が国内で初となります。

## IFPI声明を発表

IFPI(国際レコード産業連盟)の中央理事会が、11月13日、ロンドンで開催され、激増するCD-R海賊版によって世界の音楽産業が被る大きな被害と、それに対する技術的保護手段導入への動きについて、以下の声明を発表しました。

大量CD-Rコピーとデジタル海賊、  
音楽の価値を破壊

## 創造性の崩壊

今日、かつてないほどより多くの音楽がより広く入手できるようになっています。しかし、正当に利用の対価を得ている音楽は少なくなっています。デジタル技術とインターネットが、創造者になんの対価も支払わずに複製物を大量配布することを可能にしてしまったためです。

生CD-Rの売上げは全世界で急上昇しており、過去2年間で250%以上増加しています。海賊業者は、タワー・バーナー(注:CD-Rの大量複製装置)を使って数億枚という海賊盤を製造しており、インターネット海賊やファイル交換サービスも増加しています。プロモーションを目的とした発売前のシングルやアルバムも、インターネット上での視聴が可能になっています。また、莫大な量の旧譜に関しても、デジタルの複製と圧縮技術によって蓄積、複製、大量配布が可能になります。

大量複製無料配信、海賊行為は、音楽産業の素晴らしい資産である“創造性”の価値を侵しています。最近の音楽売上の世界的な落ち込みは、このような問題が、音楽を創る人々、音楽を仕事とする人々に対して大きなダメージを与えていることを示しています。

## 被害の証明

同IFPI理事会において、海賊CD製造量の驚異的な増加と、正規盤のCD売上に与えた打撃を裏付ける証拠として、以下の結果が報告されました。

海賊CD(CDへの焼付け行為)は増加している。

2年前は、世界規模で、3枚の正規CD売上に対し1枚のデジタルコピーが作成されていました。2000年、この比率は2枚に1枚の割合へと急増しています。2001年一年間で音楽の複製に使用されたCD-Rは25億枚程で、店頭での正規



CDの売上と同量になるだろうと予測されています。大量複製行為と海賊行為によって、正規盤の音楽売上は大きなダメージを受けているのです。

統計は、生CD-Rの需要、供給は双方とも劇的増加を示している。

全世界での生CD-R（音楽用、その他のメディア用を含む）の需要は、1999年以来2年間で、年間19億枚から48億枚へと2.5倍に増加しています。このうち50%は音楽用だと推定されます。

CD-Rは組織的な商業海賊の主力となるフォーマットである。

2000年の海賊CD-Rの売上はそれまでの3倍増の1億6,500万枚で、2001年も同様の比率で増加しています。マルチ・タワー・バーナーによる海賊CDの大量製造は世界の音楽海賊業者に広まっており、海賊市場は40億ドルを超えています。2001年7月までに、世界中の警察と税関によって押収された海賊CDの量は前年の倍に増加しており、海賊CDと同時に製造機器も押収されたケースだけに注目しても、IFPIによると、この期間の押収量は全世界で830万枚を記録し、前年の280万枚を大きく上回っています。

音楽売上は痛手を受けている。

2001年上半期の音楽売上は5%の減少を示しており、通年でも同程度の減少が予測されています。西ヨーロッパの多くの国を含む世界の主要市場での減少は、不法なCD-R複製の急増に起因するものです。ある調査会社によれば、ドイツでは、3枚のCDが購入されると、そのうち2枚は複製されています。すなわち、年間1億3,000枚の音楽CD-Rが作られ、さらに増加しているのです。この結果、2000年のドイツの正規レコード売上は大幅に減少しました（2001年上半期は11%の減少）。これはドイツだけでなく世界的な傾向で、2001年のCD-Rセールスは、世界10大市場中7市場で、40%前後の増加をしており、これらのほとんどの市場ではCDのセールスが大きく落ち込んでいます（アメリカ、日本、カナダ、イタリア、ドイツ、メキシコ、ブラジル）。

## コピープロテクション

IFPIは、レコード会社がCDのコピープロテクション技術を導入する動きを支援しています。コピープロテクションは、大量デジタルコピー、販売、組織的的海賊によって音楽の価値が損なわれることへの対策です。この技術の導入は、ビデオやコンピューター・ソフトウェアの分野ではすでにあたりまえのことです。音楽業界でも、1990年代初めから、家電産業との協力によって、デジタルコピーの回数を制限する技術が使われています。

レコード会社は、アーティスト、作詞作曲家、レコード製作者、出版社など、レコードの製作に力と創造性をそそいでいる人々の権利を護り、音質を損なわないプロテクション技術を求めています。コピープロテクションは、ハイファイ装置やCD再生装置、CDの耐久性にダメージを与えるものであってはいけません。プロテクトを施されたCDは、すべてのオーディオCDプレイヤーで普通に再生されることが望まれます。

IFPIは、会員各社のプロテクション技術の選択・導入に関してはなんら関与する権限を持っていませんが、プロテクションを施されたCDには明確にその旨を表示するようアドバイスをしています。これは、今後、業界共通の慣行となっていくと思われます。

## MIDEM2002今月開催

世界最大の国際音楽見本市「MIDEM2002」が、今年も1月20日～23日の間、フランスのカンヌにおいて開催されます。

当協会は1991年から、(社)音楽出版社協会(MPA)が設置する「JAPANスタンド」に協力、参加しています。昨年、MPAはMIDEMと共催で、日本の音楽シーンを紹介するセミナーを開催しましたが、今回は当協会も60周年事業の一環として、「How to Succeed In Japan」をテーマとしたセミナーを共催し、そのパネルディスカッションに参加することになりました。

パネルディスカッションは、アレクサンダー・アブラモフ氏がモデレーターを務め、パネリストとして、朝妻一郎氏（株）フジパシフィック音楽出版社長、石坂敬一氏（ユニバーサルミュージック（株）社長、当協会副会長）、依田巽氏（エイベックス（株）会長兼社長、当協会副会長）、ジョン・ポスマン氏（ゾンバ・レコーズ・ジャパン（株）役員）の参加が予定されています。

また、当協会は、世界の音楽関係者に広く日本のレコード産業を紹介するための冊子「日本～Gateway to Japan」を作成し、MIDEM会場において配布します。

「MIDEM2002」の詳細については、本誌3月号でお伝えします。

第16回

# 日本ゴールド



# ディスク大賞

授賞式：3月13日（水）・NHKホールにて開催  
午後6時開場 午後7時開演

# GOLD ALBUM 他認定作品

2001年11月度

## アルバム

(19 作品)

### 邦 楽

#### ■2ミリオン

The Way We Are / CHEMISTRY / 2001.11.07 (DF)

#### ■ミリオン

プッチベスト～黄青あか～ / モーニング娘。・中澤ゆうこ・タンポポ・プッチモニ・安倍なつみ / 2000.04.26 (EP)  
sweet bitter sweet / 松任谷由実 / 2001.11.14 (TO)

#### ■ダブル・プラチナ

Candize / 矢井田 瞳 / 2001.10.31 (TO)

#### ■プラチナ

MISIA REMIX 2002 WORLD PEACE / MISIA / 2001.11.21 (BMG)  
CHAMBERS / Steady & Co. / 2001.11.28 (WJ)

#### ■ゴールド

THE BEST Love Winters -ballads- / 広瀬香美 / 2001.11.07 (V)  
Melodies & Memories II / TUBE / 2001.11.21 (SR)  
ZARD BLEND II ～ LEAF & SNOW ～ / ZARD / 2001.11.21 (BG)  
GIGS CASE OF BOOWY / BOOWY / 2001.11.28 (TO)  
Kh re-mixed up 1 / 平井 堅 / 2001.11.28 (DF)  
KOYANAGI THE BALLADS / 小柳 ゆき / 2001.11.28 (WJ)

### 洋 楽

#### ■ミリオン

MAX BEST / V.A. / 2000.11.22 (SI)  
Greatest Hits-chapter 1 / BACKSTREET BOYS / 2001.10.24 (ZJ)

#### ■トリプルプラチナ

フォー・ラヴァーズ～『冷静と情熱のあいだ』テーマ曲集 / エンヤ / 2001.10.24 (WJ)

#### ■プラチナ

Britney / ブリトニー・スピアーズ / 2001.10.31 (ZJ)

#### ■ゴールド

レガシー～ボーイズIIメン・グレイテストヒッツ / ボーイズIIメン / 2001.10.20 (UM)  
スーパースター・クリスマス / V.A. / 2001.11.07 (SI)  
image d'amour / オムニバス / 2001.11.07

## シングル

(17 作品)

### 邦 楽

#### ■トリプル・プラチナ

白い恋人達 / 桑田佳祐 / 2001.10.24 (V)

#### ■ダブル・プラチナ

ミニモニ。ジャンケンぴょん! / 春夏秋冬だいすっき! / ミニモニ。 / 2001.01.17 (EP)  
traveling / 宇多田ヒカル / 2001.11.28 (TO)

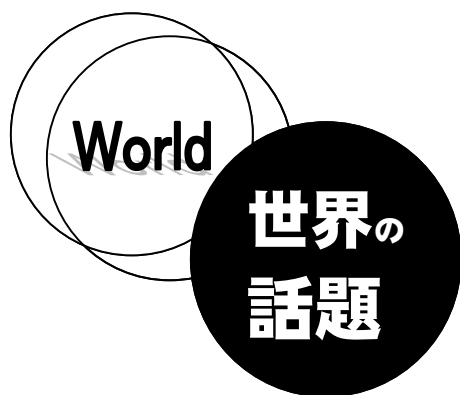
#### ■プラチナ

YOUTHFUL DAYS / Mr.Children / 2001.11.07 (TF)  
Hey! みんな元気かい? / KinKi Kids / 2001.11.14 (JE)

#### ■ゴールド

One / RIP SLYME / 2001.10.11 (WJ)  
DR/Only One Song / TOKIO / 2001.10.31 (UM)  
STARS / 中島美嘉 / 2001.11.07 (AI)  
クリスマス・イヴ Rap / KICK THE CAN CREW / 2001.11.07 (WJ)  
All My Love To You / DA PUMP / 2001.11.07 (AVT)  
ぴったりしたい X'mas! / プッチモニ / 2001.11.14 (EP)  
誓い / ゴスペラーズ / 2001.11.14 (KS)  
王子様と雪の夜 / タンポポ / 2001.11.21 (EP)  
おやすみなさい / aiko / 2001.11.21 (PC)  
remain～心の鍵 / 小柳ゆき / 2001.11.21 (WJ)  
Confession / hiro / 2001.11.21 (AVT)  
ホワッツ・ゴーイン・オン / Artists Against AIDS / 2001.11.07 (SI)

※AI:ソニー・ミュージックアソシエイテッドレコーズ/AR:アンティノスレコード/AVT:エイベックス/BG:ビーグラムレコーズ/BM:ルームスレコーズ/BMG:BMGFANハウス/C:日本コロムビア/CR:日本クラウン/CT:カッティング・エッジ/DF:デフスターレコーズ/EI:エピックレコーズ・インターナショナル/EP:ゼティマ/ES:ソニー・ミュージック EK/Epic Records/EW:イーストウエスト・ジャパン/FL:フォーライフレコード/GZ:ギザ/JE:ジャニーズ・エンタテイメント/JF:J-FRIENDS P./K:キングレコード/KS:ソニー・ミュージック EK/Ki/oon Records/PAR:プライエイド・レコーズ/PC:ポニーキャニオン/PG:ポリグラム/PI:パイオニアLDC/PO:ポリドール/PS:ポリスター/PZ:ピザ・オブ・デス・レコーズ/RR:ロードランナー・ジャパン/SI:ソニーレコーズ・インターナショナル/SN:SENHA & CO./SR:ソニー・ミュージックレコーズ/TE:テイチクエンタテインメント/TF:トイズ・ファクトリー/TJC:徳間ジャパンコミュニケーションズ/TO:東芝EMI/TRI:トライエム/UM:ユニバーサルミュージック/V:ビクターエンタテインメント/VAP:バップ/WJ:ワーナーミュージック・ジャパン/ZA:ツァインレコーズ/ZJ:ソルバ・レコーズ・ジャパン



## インターポール、知的所有権犯罪対策を支援する 会議を開催

インターポールは国際的な知的所有権犯罪対策のための初の国際会議を開催しました。IFPIはこの動きを歓迎しています。

会議は、11月15、16の両日、フランス・リヨンにおいて開催されました。世界中の国の警察が権利者団体と会い、海賊対策のためによりよい協力関係を築くための話し合いが行われました。多くの国から税関関係者の参加もありました。

インターポールは、権利者団体と執行当局からメンバーを集めたワーキンググループを来年早々に設置することを会議で任命されました。このワーキンググループは、権利者団体からの支援、助言などの情報に基づいて、実際の海賊対策活動を考えていくものです。

音楽海賊は、全世界に横行する違法行為で、40億ドル以上の規模を有しています。世界の海賊流通の多くは組織犯罪に支えられています。地球上の売上3枚に対して1枚が海賊版であるとみられています。

会議の代表団は、WTO(世界貿易機関)、WIPO(世界知的所有権機構)、ファッションハウス、製薬会社、映画会社からの出席者で構成され、IFPIの執行部門責任者であるイアン・グラント氏と、香港税関次長のヴィンセント・プーン氏が共に議長を務めました。

グラント氏は、「インターポールは、海賊版の製造量が猛烈に増え、多くの流通網が開発され、その結果、合法的なビジネスにダメージを与えていることを以前から認識している。また、重要なことだが、海賊業に犯罪組織やテロリストのグループが関わっていることも掌握している。われわれは、この新しいワーキンググループによって、海賊問題に対する協調関係が更に高められることを望んでいる」と語

りました。

今回の会議では、光ディスク産業での海賊問題、デジタル時代における海賊対策活動、ニセ薬、知的所有権に関するEUの政策などが課題として取り上げられたほか、スペイン、クロアチア、ベルギー、ウクライナ、フランス、日本、香港、モーリシャス、アイルランド、カナダのカントリーレポートが報告されました。(IFPIプレスリリース)

## メキシコで著作権侵害に対して初の実刑

11月23日、メキシコシティにおいて、海賊製造業者に原材料を供給していた業者に対し、執行猶予なしの禁固3年の判決が下されました。実刑判決は、ラテンアメリカでは初めてのことであり、同地域で音楽海賊に対して下された判決のうちで最も厳しいものです。

容疑者は、メキシコ共和国の連邦知的所有権法に違反して海賊盤を製造している業者に対して原材料と不法なサービスを提供したもので、懲役終了後は3年間の保護観察がつけられる予定になっています。

この容疑者は、CDの表示を刻印するためのネガや、違法な製造物、製造設備などを所有していました。メキシコ地域の海賊対策機関であるAPDIFメキシコは、今年の8月から専門家と協力してこの件について調査を続けており、それが今回のメキシコシティでの逮捕、判決につながったものです。

APDIFメキシコのロジャー・ヘルナンデス事務総長は、「メキシコの当局が、これらの違反の深刻さを認識し、我々の依頼先と当局による、今後の大きな協力関係の始まりであると理解したことをうれしく思う」と語りました。

また、IFPIのバーマン会長は、「メキシコの経済、文化、そして国際的評価に支障を及ぼしている多大な海賊に対し、メキシコ当局が始めて示した断固たる執行活動の兆しであると、我々は期待している。たいへん歓迎できる動きである」と語りました。

現在、メキシコの音楽市場規模は、6億2,600万ドルで世界第8位ですが、音楽海賊の急増によって今後の状況が危ぶまれています。海賊はメキシコの市場に対し、3億ドル以上の損失を与えており、レコード会社による新人育成のための投資が困難になってきているのです。(IFPIプレスリリース)

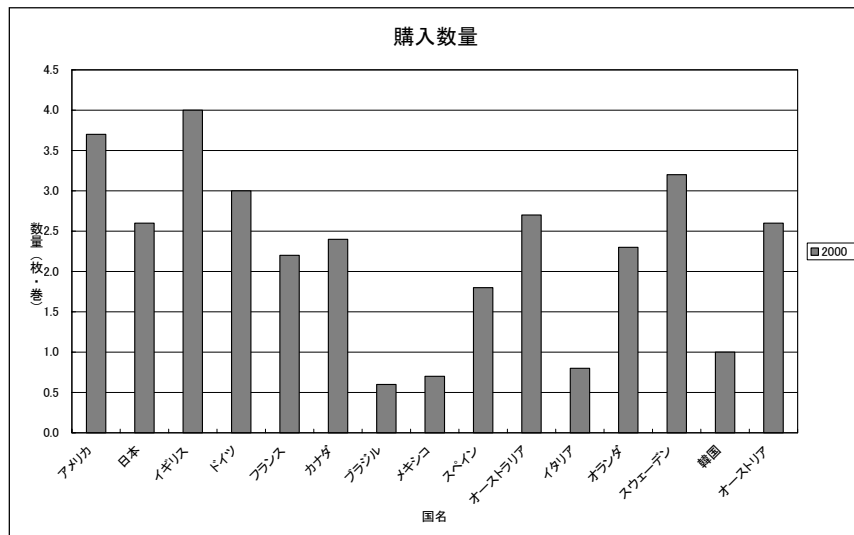
### 2001年11月会議メモ (主なもの)

(12月1日～12月28日)	12・10	レコード制作基準倫理委員会	12・20	執行委員会
12・5	12・13	レンタル問題協議会	12・26	労政部会
12・7	12・19	デジタル問題対策会議		貸レ対策委員会

音楽パッケージ売上金額上位15カ国の1人当りの購入状況

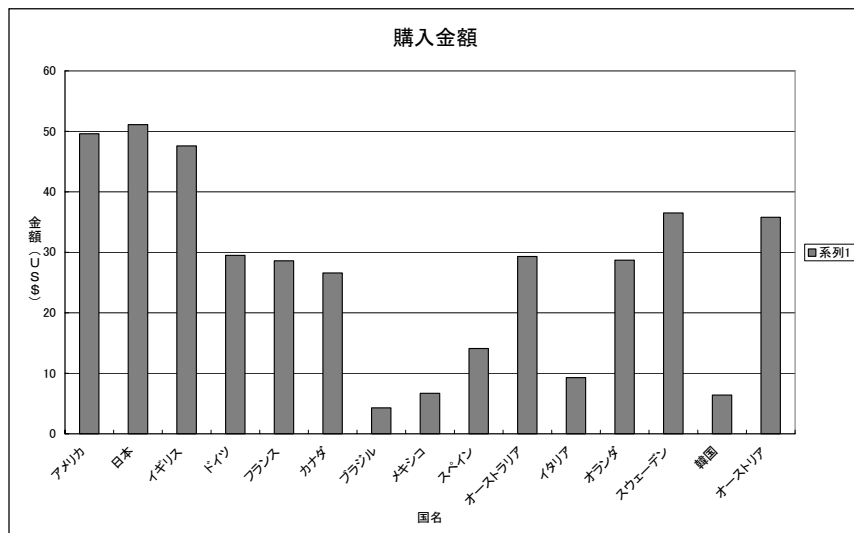
今号では、IFPI発表世界音楽売上トップ15カ国における、1人当りの音楽パッケージの購入量について、数量と金額で比較してみました。参考も含め、すべての数字はIFPI発行の「2001 the recording industry in numbers」によるものです。

		2000年の 売上(US\$)	一人当りの購入数量			一人当りの購入金額 (US\$)		
			2000	1999	2000 対 1999	2000	1999	2000 対 1999
1	アメリカ	14,042.0	3.7	3.9	94.9	49.6	51.6	96.1
2	日本	6,535.3	2.6	2.5	104.0	51.1	50.9	100.4
3	イギリス	2,828.7	4.0	3.8	105.3	47.6	49.5	96.2
4	ドイツ	2,420.6	3.0	3.1	96.8	29.5	34.5	85.5
5	フランス	1,694.7	2.2	2.3	95.7	28.6	33.7	84.9
6	カナダ	819.3	2.4	2.6	92.3	26.6	28.6	93.0
7	ブラジル	724.7	0.6	0.6	100.0	4.3	4.0	107.5
8	メキシコ	665.9	0.7	0.7	100.0	6.7	6.4	104.7
9	スペイン	562.9	1.8	1.6	112.5	14.1	16.1	87.6
10	オーストラリア	561.3	2.7	2.7	100.0	29.3	35.1	83.5
11	イタリア	532.2	0.8	0.9	88.9	9.3	10.6	87.7
12	オランダ	455.0	2.3	2.3	100.0	28.7	33.2	86.4
13	スウェーデン	322.9	3.2	2.8	114.3	36.5	40.1	91.0
14	韓国	299.7	1.0	0.8	125.0	6.4	5.1	125.5
15	オーストリア	289.1	2.6	2.4	108.3	35.8	39.5	90.6



\*参考

	人口 (100万)
アメリカ	283.2
日本	127.1
イギリス	59.4
ドイツ	82.0
フランス	59.2
カナダ	30.8
ブラジル	170.4
メキシコ	98.9
スペイン	39.9
オーストラリア	19.1
イタリア	57.5
オランダ	15.9
スウェーデン	8.8
韓国	46.7
オーストリア	8.1



# 2001年11月レコード生産実績

社団法人 日本レコード協会

## 2001年11月レコード生産実績

数量：千枚・巻

単位

金額：百万円

表1. オーディオレコード

	11月 実績							2001年(1月～11月) 累計						
	数量	構成比	前年同月比	金額	構成比	前年同月比	数量	構成比	前年同期比	金額	構成比	前年同期比		
シングル	8cm CD	邦	1,211	3	64	387	1	115	8,746	2	28	3,633	1	25
		洋	0	0	0	0	0	0	514	0	167	44	0	46
		計	1,211	3	58	387	1	110	9,260	3	29	3,678	1	25
	12cm CD	邦	10,400	26	121	7,802	16	115	92,019	26	95	70,485	15	92
		洋	117	0	127	105	0	147	1,227	0	143	1,041	0	141
		計	10,517	26	121	7,907	16	115	93,246	26	95	71,525	16	93
小計	邦	11,611	29	111	8,189	17	115	100,766	28	78	74,118	16	82	
	洋	118	0	42	105	0	122	1,741	0	149	1,085	0	130	
	計	11,728	29	109	8,294	17	115	102,507	29	79	75,203	16	82	
12cmCDアルバム	邦	18,796	46	78	26,868	55	75	166,977	47	92	271,049	59	94	
	洋	8,901	22	95	12,597	26	91	70,033	20	99	100,902	22	99	
	計	27,697	68	82	39,465	81	80	237,010	67	94	371,951	81	95	
CD合計	邦	30,407	75	88	35,057	72	82	267,743	76	87	345,167	75	91	
	洋	9,019	22	93	12,702	26	91	71,774	20	99	101,986	22	99	
	計	39,426	97	89	47,759	98	84	339,517	96	89	447,153	97	93	
アナログディスク	邦	71	0	59	79	0	63	1,037	0	68	1,078	0	70	
	洋	9	0	33	11	0	31	193	0	71	219	0	57	
	計	81	0	54	90	0	56	1,230	0	69	1,297	0	67	
カセットテープ	邦	1,074	3	67	1,009	2	82	13,691	4	88	11,097	2	89	
	洋	5	0	80	7	0	88	58	0	74	50	0	69	
	計	1,080	3	67	1,015	2	82	13,749	4	88	11,147	2	89	
総合計	邦	31,553	78	87	36,144	74	82	282,471	80	87	357,342	78	91	
	洋	9,033	22	93	12,720	26	91	72,025	20	99	102,255	22	99	
	計	40,586	100	88	48,864	100	84	354,496	100	89	459,597	100	93	

表2. ビデオレコード

	11月 実績						2001年(1月～11月) 累計					
	数量	構成比	前年同月比	金額	構成比	前年同月比	数量	構成比	前年同期比	金額	構成比	前年同期比
DVD	5,766	74	214	11,222	61	192	34,332	67	171	71,402	54	150
LD・その他	175	2	65	286	2	67	1,996	4	66	3,306	3	57
テープ	1,891	24	101	7,011	38	98	15,041	29	78	57,524	44	84
合計	7,831	100	162	18,519	100	138	51,369	100	121	132,232	100	108

表3. オーディオ/ビデオ合計

	11月 実績						2001年(1月～11月) 累計					
	数量	構成比	前年同月比	金額	構成比	前年同月比	数量	構成比	前年同期比	金額	構成比	前年同期比
オーディオ	40,586	84	88	48,864	73	84	354,496	87	89	459,597	78	93
ビデオ	7,831	16	162	18,519	27	138	51,369	13	121	132,232	22	108
合計	48,417	100	95	67,383	100	94	405,865	100	92	591,829	100	96

<参考>表4. 複合型CD (CD-G、CD-I、CD-ROMなど)

	11月 実績						2001年(1月～11月) 累計					
	数量	構成比	前年同月比	金額	構成比	前年同月比	数量	構成比	前年同期比	金額	構成比	前年同期比
邦盤	14,293	100	95	1,723	100	121	122,050	100	76	14,532	100	84
洋盤	0	0	-	0	0	-	0	0	-	0	0	-
合計	4,293	100	95	1,723	100	121	122,050	100	76	14,533	100	84

備考 1. 本年実績は、会員会社「24社」の集計である。当会員会社が受託した非会員社からの販売委託分を含む。  
2. 単位未満四捨五入により、内訳と合計が一致しない場合がある。

# 迎春

## 社団法人日本レコード協会会員社（加盟・創立順）

### ■正会員

日本コロムビア株式会社	〒107-8011 港区赤坂4-14-14	03-3584-8111
ビクターエンタテインメント株式会社	〒107-0061 港区北青山3-6-7 パラシオタワー	03-5467-5401
キングレコード株式会社	〒112-0013 文京区音羽1-2-3	03-3945-2131
株式会社テイチクエンタテインメント	〒150-8516 渋谷区神宮前6-27-8 京セラ原宿ビル6F	03-5778-1721
ユニバーサルミュージック株式会社	〒153-8511 目黒区大橋1-8-4	03-3780-8501
東芝EMI株式会社	〒107-8510 港区赤坂2-2-17	03-5512-1700
日本クラウン株式会社	〒107-8405 港区赤坂2-10-8 信和ビル	03-3582-4741
株式会社徳間ジャパンコミュニケーションズ	〒107-8584 港区南青山3-1-1 プラザ246青山ビル	03-3746-2801
株式会社ソニー・ミュージックエンタテインメント	〒102-8353 千代田区六番町4-5	03-3515-5005
株式会社ポニーキャニオン	〒105-8487 港区虎ノ門2-5-10	03-5521-8000
株式会社ワーナーミュージック・ジャパン	〒107-8639 港区北青山3-1-2	03-5412-3111
株式会社フォーライフレコード	〒154-8558 世田谷区池尻3-28-8	03-5430-3106
株式会社バップ	〒102-0081 千代田区四番町5-6 日本テレビ四番町別館4F	03-3234-5711
株式会社BMGFアンハウス	〒150-8350 渋谷区渋谷1-3-9	03-3797-9020
バイオニアLDG株式会社	〒150-8506 渋谷区恵比寿南1-20-6	03-5721-1351
株式会社ビーグラムレコーズ	〒106-0032 港区六本木5-2-2 森本六本木ビル6F	03-3479-2371
エイベックス株式会社	〒107-8577 港区南青山3-1-30 住友生命青山ビル	03-5413-8550
株式会社プライエイド・レコーズ	〒150-8955 渋谷区恵比寿南2-14-6	03-3710-0510
株式会社トライエム	〒107-0052 港区赤坂6-6-20 テルウェル赤坂ビル2F	03-5562-2810

### ■準会員

株式会社ジャニーズ・エンタテインメント	〒107-0052 港区赤坂7-10-20	03-5570-0808
ロードランナー・ジャパン株式会社	〒150-0041 渋谷区神南1-6-6 オザワビル5F	03-3463-6907
ゾンバ・レコーズ・ジャパン株式会社	〒107-0062 港区南青山3-1-30 住友生命青山ビル	03-5775-5461

### ■賛助会員

株式会社キングインターナショナル	〒112-0013 文京区音羽1-2-3	03-3945-2333
ベルウッド・レコード株式会社	〒112-0013 文京区音羽1-2-3	03-3945-2303

2001年12月1日 現在